

松山圏域における感染症対策 (訓練・人材育成) について

- 1 感染症危機管理対応訓練
「新型インフルエンザ等感染症対応訓練」について
- 2 高齢者施設等における感染症対策の取組み
「感染症対策マネージャー養成事業」について

新型インフルエンザ等感染症対応訓練

【合同訓練】

● 目的

新型インフルエンザ等について、**本県における検疫を端緒とした初発事例を想定し、関係機関の連携を確認ながら実践的な訓練**を実施する。

● 参加機関

愛媛大学医学部附属病院（第一種感染症指定医療機関）、
広島県検疫所松山空港出張所

愛媛県健康増進課、衛生環境研究所、中予保健所

● 日時

令和7年10月2日（木）13：00～17：00

● 場所

愛媛大学医学部附属病院

● 訓練の流れ

松山空港到着便に患者が搭乗⇒患者搬送及び検体採取等（検疫所）⇒同乗者（健康監視対象者）の健康監視実施（検疫所→県庁→保健所）⇒健康監視対象者が発症し、患者搬送・受入（中予HC→愛大）⇒検体採取（愛大）⇒検体搬送（中予HC→衛研）⇒積極的疫学調査（中予HC）



新型インフルエンザ等感染症対応訓練

【中予保健所の訓練】

中予保健所においては、**合同訓練と連動した訓練**を実施

● 目的

所内の初動対応について、各自が役割を認識して行動することができる。

● 日時

令和7年10月2日（木）9：30～16：30

● 場所

中予保健所学生実習室

● 訓練内容

- ①第1回現地対策部会議（立上げ）
- ②第2回現地対策部会議（健康観察者発症）
- ③第3回現地対策部会議（積極的疫学調査実施後）
- ④個人防護具（PPE）着脱訓練



愛媛県中予保健所感染症対策マネージャー養成事業

【背景】

コロナ禍では、高齢者施設等におけるクラスターが多発し、医療のみならず介護も必要とする高齢者の入院長期化等により、医療がひっ迫した。

【コロナ禍で見えてきた課題】

- 施設職員の感染対策の知識に差があった。
- クラスター発生時、感染対策のリーダー的存在の職員が不明確だった。
- 外部の感染対策の専門家との連携や好事例を共有できる仕組みがなかった。



【感染症対策マネージャー養成事業】

● 感染症対策マネージャー養成研修会の実施

施設長が推薦した職員に対して、感染症対策に係る研修（講義・演習）を実施、修了証を交付

● 感染症対策マネージャー連携会議の開催

感染管理認定看護師の助言を受けながら、感染対策についての情報交換や顔の見える関係づくり

● 感染症対策の教材作成・公開

施設の感染症対策に活用できる教材の作成と保健所ホームページでの公開

● 事業実施企画会議の開催

効果的に事業を実施するため、内容や評価等について検討

(1) 事業実施企画会議

事業を効果的に実施することを目的として開催

R7年度からICN4名
が新たに参画

● 構成メンバー（27名）

- ・ 松山圏域の医療機関に所属する感染管理認定看護師（ICN）
- ・ 施設職員（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、養護老人ホーム）
- ・ 愛媛県看護協会
- ・ 松山市保健所
- ・ 中予地方局地域福祉課
- ・ 愛媛大学大学院医学系研究科感染制御学講座（アドバイザー）
- ・ 中予保健所（事務局）

● 開催日・内容

【第1回】令和7年5月29日（26名出席）

- ・ 令和6年度事業報告
- ・ 令和7年度事業（案）について

【第2回】令和7年8月29日（27名出席）

- ・ 養成研修会について
- ・ 連携会議について

【第3回】令和8年3月10日（予定）

- ・ 令和7年度事業の評価
- ・ 令和8年度事業（案）について



- **目標**
感染症対策について、**施設の特徴に合わせた表現で説明**ことができ、**業務の特性に応じた対応の基本を理解し実践に向けた動機づけ**となる。

- **内容**
 - ・ **事前学習** (動画の視聴) 必須：感染症の基礎知識、任意：手指衛生、個人防護具の着脱
 - ・ **集合研修** 【講義】手指衛生、基本的な感染予防策、環境整備、入所者・職員の健康管理
【実習】手指消毒、個人防護具
【グループワーク】情報交換：施設での感染対策について等

- **開催日時**：令和7年7月15日(火) 13:30~16:00

- **参加者**：35名(25施設/90施設) ➡ マネージャーは71名(51施設)

- **事前・事後アンケート調査結果**

感染対策の基本・基礎知識の理解向上(事前6割から事後9割以上へ)



- **令和6年度からの変更点**

- ・ 施設内に複数のマネージャーを配置 → 各施設2名まで参加可能
- ・ 情報交換の時間を確保 → 講義「感染症の基礎知識」を事前学習
- ・ 研修会への参加促進
→ 申込のない施設や集団感染を経験した施設に個別勧奨
マスコミ取材(NHKの夕方ニュースで紹介)



● 目標

感染症発生時の対応・施設（組織）の取組みを理解し、施設内で実践することができる。

● 内容

- ・ **事前学習** ワークシート（感染症発生時の対応）作成
- ・ **集合研修** 【講義】 感染症発生時の初動対応と感染拡大防止
【演習】 ①感染症発生時の初動対応
②感染拡大期の対応
【グループワーク】 情報交換：実践に向けて等

● **開催日時**：令和7年12月15日（月）13：30～16：00

● **対象者**：ベーシックコース修了者（感染症対策マネージャー）

● **参加者**：33名（30施設/51施設）

● 事前・事後アンケート調査結果

組織づくり、対策等の理解度が向上（事前6割から事後ほぼ100%）
事後の満足度調査では、満足が100%

● 参加者の感想

- ・ とても有意義。自施設で生かせるよう委員会で話し合いたい。
- ・ （施設に帰ってから）感染症発生後の振り返りや問題提起ができる様、意識を持ち時間を作っていきたいと思う。



(3) 感染症対策マネージャー連携会議

● 目的

感染症対策マネージャー及び外部の感染制御に関する専門家が一堂に会して、高齢者施設等における感染対策の課題や有事における対応等について、共有し検討することにより平時からの連携体制を構築し、感染症発生時の対応力の向上を図ることを目的とする。

● 参集者

感染症対策マネージャー及び松山圏域の感染制御に関する専門家（感染管理認定看護師）等

（※）養成研修会修了者別で開催



● 開催日・内容

【第1回（ベーシックコース修了者）】令和7年9月29日（月）13：30～15：30

参加者：31名（25機関）

内容：KJ法によるグループワーク・全体共有

「テーマ：施設における平時の感染対策について」

情報交換

【第2回（アドバンスコース修了者）】令和8年2月13日（金）13：30～15：30

参加者：38名（29機関）

内容：取組報告「施設における感染症対策の取組報告」

情報交換「施設における感染症対策と感染症発生時の対応について」

(4)感染症対策の教材作成・公開

施設の感染症対策に活用できる教材を作成し、保健所ホームページで公開している。

●方法 YouTube 公開

●内容・視聴回数等

講義名	公開日	視聴回数	
		(R7.11.7現在)	(R8.2.2現在)
講義①感染症の基礎知識	R7.1.27	829回	1213回
講義②手指衛生	R7.1.27	329回	469回
講義③基本的な感染予防策	R7.1.27	501回	654回
講義④環境整備	R7.1.27	346回	457回
講義⑤入所者・職員の健康診断	R7.1.27	168回	256回
実習(手指衛生・PPE着脱)	R7.1.27	250回	341回
理解度テスト	R7.3.7	160回	248回
講義 感染症発生時の初動対応と感染拡大防止	R8.2.6		

●視聴回数上昇の要因

- ・ 感染症対策マネージャーが施設内の研修等に使用
- ・ インフルエンザ等の感染症が流行